

小学部 せいかつ「パーティーをしよう」

- 楽しく調理がしたい。食べることが好き。
- 自分の見通しと違うと不安になる。
- 食べることや活動をやり切ることで頭がいっぱい。

- 慣れ親しんだ活動に安心して取り組んでほしい。
- 活動内容に変化や展開を加え、幅を広げたい。
- 食べることでなく、教師や友だちのことを意識できるといいな。

① ホットケーキを作ろう

一般的なホットケーキ作りをして、皆で食べました。

一人ずつ順番に作り、友だちの活動の様子を互いに見られるようにしました。活動に見通しをもち、どの取り組みにも自信をもって参加できるようになりました。



みててや！
ドロ～ってするで！

② ホットケーキの作り方を工夫しよう



学習に変化をつけるため、ホットケーキに抹茶やイチゴシロップ、ココアなどのフレーバーを加え、色や味の変化を楽しみました。
おすそわけした先生の「おいしい！〇〇の味する！」と驚いた表情をみてにっこり。



おすすめポイント

活動の変化については、敢えて視覚支援のカード等を使わず、実物を見せて口頭で伝えました。見通しの変化に身構えすぎず取り組みました。

③ パーティーをしよう

ホットケーキ作り慣れてきたことで学習に気持ちと時間の余裕が生まれたので、パーティー形式の活動に発展させました。

調理を始める前にテーブルメイキングをしたり、ハロウィンやクリスマスなどの季節のイベントの飾りつけをして雰囲気を楽しみました。



また、「パーティーに誰かを招待しよう」と計画し、招待したい先生を子どもたちと考える時間を作りました。招待した先生の目の前で自信たっぷりに調理をする姿を披露できました。

研究発表当日は、たくさんの参観者がいる中で緊張もありましたが、いつものホットケーキ作り、パーティーに今日は誰を呼ぼうかなという気持ちをもって、安心して取り組みました。「まだ招待したことのない先生は誰かな」と考えたり、「この先生と一緒に食べたい」と期待をもったりし、前向きに取り組めました。

ふかふか…
ぽんっ！



指導上の留意点

「調理→食べる→学習の終わり」という見通しが強かった本学級の児童に対応し、パーティーの準備や先生の招待を調理の前にするように設定しました。指示の言葉の取捨選択や活動順の調整によって、児童が安心して学習に取り組めるようになりました。